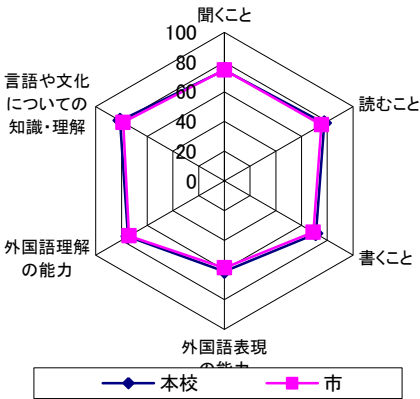


宇都宮市立陽東中学校 第3学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	聞くこと	74.6	74.8	66.0
	読むこと	77.7	75.5	66.9
	書くこと	71.1	69.1	64.8
観点別	外国語表現の能力	60.9	58.5	53.9
	外国語理解の能力	74.8	74.1	65.7
	言語や文化についての知識・理解	81.1	78.8	71.8

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	○聞くことの中でも、資料をもとに英語の対応文を考える問題は市より2.8ポイント上回っている。また適した場面の絵を選ぶ問題は市より2.3ポイント上回っている。 ●市と比べると0.2ポイント下回った。特に長い英文を聞き取り要点をつかむ問題が苦手な傾向にある。	・聞くことはテストにおいて主にリスニングに関する問題である。他の領域では市平均を上回っているものの、英語を聞き取り内容を理解することが苦手である生徒が多いのが本学年の特徴である。授業では初めに英語で生徒とやり取りをすることが多いが、そういった活動をより充実させることで英語を聞き取る耳を成長させる授業を進めていきたい。また、聞き取りのテストでは、添削して生徒に返却するだけでなく、気になる部分をもう一度CDで聴かせる等の授業を進めていきたい。
読むこと	○市と比べると2.4ポイント上回った。特に語形や文法を正しく理解しているかを問う問題で、市より0.2～5.4ポイント高い結果となった。 ●英文の資料やグラフなどをもとに読み取る問題でのみ、市平均を下回る結果となった。	・教科書の内容を授業で丁寧に扱い、難しい内容や文法がある際には別途資料を用いながら時間をかけて指導してきたため、市を上回る得点を上げることができたと思われる。更に成果を上げるために、習熟度別学習をする授業を進めていきたい。 また、グラフや表などの情報をもとに英文を理解する問題もトレーニングをする授業を進めていきたい。
書くこと	○市と比べると2.0ポイント上回った。「単語の並べかえによる英作文」「場面に応じて書く英作文」「3文以上の英作文」において、市を上回った。 ●単語を正しく書く問題では、drink(飲む)やpopular(人気がある)という単語の正答率は市平均を上回ったものの、「開ける」「食べる」などの正答率は下回った。基本的な単語でも、正確に綴ることのできるものとならないものの個人差が大きい。	・1年時は英語で表現することが苦手な生徒が多かったが、単元の合間に既習の文法を用いて身の回りのことについて英作文をする練習を繰り返し実施してきたことで、成果を上げることができた。英単語を知っているだけでは英語を書くことはできないので、単語から連語や文になる過程を、今後きめ細かくしっかりと指導していきたい。また、以前は書くことができた英単語でも、しばらくすると忘れてしまうので、スパイラルに学習し、既習の英語を思い出す学習を進めていきたい。